

みどりのまちづくりアクションプラン

事業期間：2020～2024

金谷公園ストック効果の拡大～もっと使い倒そう～

「子ども・来訪者の遊び場、にぎわいとくつろぎと楽しさを創り出す市民・事業者が活躍する公園」

平面図・公園風景



公園の現状

本公園は、1998年4月1日に開設され、多様な遊具、噴水、広大な芝生などの公園施設の特徴から、たくさん子どもや家族連れ、犬の散歩、ウォーキング、小学校のマラソン大会、保育園や幼稚園の遠足など様々な利用がされ、さらには、むつ市まち・ひと・しごと創生総合戦略における『子育て・子ども成長ゾーン』として、公園遊具の集中的な更新が行われ、本市の中でも人気の公園となっています。

また、民間主導によるイベントの開催や、たくさんボランティアにより公園施設のペンキの塗り替えや公園を彩る植樹や花植えが行われるなど、コミュニケーションによるまちづくりが拡大中です。

公園の課題

公園開設から20年以上経過していることから、トイレや東屋などの公園施設の老朽化や一部園路の破損などが見受けられ、改修やバリアフリー対応が必要となっています。また、日陰などの休憩場所や駐車場が不足している点も課題となっています。

倒木の危険性から伐採された北側道路沿いの未利用地の活用方法の検討が必要となっています。

また、公園を中心とした建替えが予定されるむつ総合病院や、ムチュ☆ランド、下北文化会館、文化財収蔵庫などの周辺施設との利便の向上につながる一体的な利用方法の検討が必要となっています。



まちづくりの方針

公園内での人と人が繋がり、コミュニケーションから生まれる取組を大切にしていくことで公園での新たな価値が創り出されていきます。そのためには公園を知ってもらい、実際に利用してもらうことが重要となります。Park-PFI制度、公園使用許可、公園の占用許可制度などの公園許可については、市の施策や計画と連動し、官民連携のもと柔軟性のある対応をしていきます。

新たな活用用地である杉林を伐採した跡地では、こども子育て支援機能を担いながら、公園内での利便性の向上につながる施設の設置や公園駐車場の狭隘の解消を図り、公園全体として常に使われる楽しい公園づくりを目指します。

また周辺のむつ総合病院、下北文化会館、キッズパーク「ムチュ☆ランド」などの施設と一体的な空間を形成することで、エリア価値の向上と利用者の満足度を高めていくこととします。

子育て支援の方針

むつ市みどりの基本計画では子育て支援の方針として、都市公園への保育所などの占用や子育て公園の充実を図っていくこととしています。金谷公園は多くの子育て世代の方々に利用されるなど、子どもたちの未来を育む場所としての役割を担っており、公園用地を子育て支援の場所と提供することで公園機能の向上と子育て支援を図るため、伐採地の遊休地を子育て支援施設用地として活用します。



公園内の良好な景観形成に向けて

園内を彩る植物や公園から見える釜臥山などの自然風景やむつ総合病院や下北文化会館などの周辺施設が調和し、公園で活動する人が紡ぎ出すにぎわいやくつろぎが、「楽しい金谷公園」とした良好な景観として、これからも取組を進めます。



みどりのまちづくりアクションプラン

事業期間：2020～2024

金谷公園ストック効果の拡大～もっと使い倒そう～

「子ども・来訪者の遊び場、にぎわいとくつろぎと楽しさを創り出す市民・事業者が活躍する公園」

整備及び管理の方針

公園と周辺施設の利便性の向上を図る基盤整備を進めていきます。
 ベンチ塗装などの簡易な修繕や補修についてはボランティアスタッフと市が連携して行うなど、多様なコミュニケーションによる魅力ある都市公園づくりを推進します。
 日陰や休憩場所の設置については、テントやベンチなどを試験的に設置するなど、持続可能な財政運営のもと公園管理を行うための創意工夫を凝らしながら、維持管理費の低減に努めます。
 また、民間資金を活用した維持管理、都市公園法による設置管理許可制度（Park-PFI制度）などによる管理手法を検討します。



緑地の整備・保全・活用の方針

緑地については、緑の少年団、国際ソロプチミストむつ、ライオンズクラブなどの民間団体との協働の取組により、様々な木や草花にふれあえる空間づくりを進め、みどり豊かな公園を目指します。
 また、【市民の森】や【市民の花壇】というゾーンを設け、市民による市民のための公園づくりを目指します。



魅力・機能の向上・新たな価値の追加の方針

建替え予定のむつ総合病院とは、公園機能の共有により、来園者、病院利用者の利用満足度を高め、下北文化会館、キッズパーク「ムチュ☆ランド」などとも一体的な空間を形成することで、金谷公園の既存ストックの効果を更に拡大し、エリア価値の向上に努めます。

民間との連携の方針

本公園は、数多くのボランティアや各種団体の方の手により公園施設や緑の保全が行われており、賑わいづくりについても民間主導のイベントが行われるなど、他の公園に比べ、官民連携による公園づくりが先導しています。これからは民間アイデアの取組やPark-PFI制度を柔軟に取り入れ、楽しい公園づくりに向けた民間との連携のもと、デザイン性を踏まえながら、公園の魅力や公園機能の高度化を図ります。



今後の公園活用の方針

使われない公園は、地域の衰退を呼び込み、魅力の低下につながります。
 そのため、今の金谷公園の使われ方で満足するのではなく、とにかく使い倒すことを重要視し、それによるコミュニケーションの拡大とともに地域が持つ魅力の増加を目指します。

スケジュール案

		2020	2021	2022	2023	2024
金谷地区都市再生整備		基本計画・公園区域の変更				
				基本設計・実施設計	整備	
民間との連携	P-PFI等	事業者募集		整備	管理	
	民間主催イベント			実施（民間主体）		

金谷公園ストック効果の拡大～もっと使い倒そう～
「子ども・来訪者の遊び場、にぎわいとくつろぎと楽しさを創り出す市民・事業者が活躍する公園」

【新しい活用地】
こども・子育て支援機能と
利便性の向上

【官民連携による管理】
トイレ・駐車場・公園管理棟

【ソロプチの森】
広葉樹

ハマナス移植

【遊びのエリア】
5歳までの遊具

【四季を感じる花木のエリア】
桜・アジサイ

【遊びのエリア】
6歳からの遊具

文化会館と公園の自由な往来
歩行者空間の整備

駐車場

【桜の広場】
市民植樹の桜

下北文化会館

【市民花壇】
一年草・
宿根草

【花と水に親しむエリア】
宿根草・ハマナス

【噴水エリア】
涼を楽しむ

文化財収蔵庫

公園とキッズパークの
一体化と機能向上
バリアフリー整備の実施

ムチュ☆らんど

【憩いの芝生エリア】

【遊びの芝生エリア】

総合病院の建替えと運動性を確保
公園・病院施設利用者の利便向上

【軽スポーツエリア】

むつ総合病院

※【Park-PFI】
民間事業者からの意見をもとに公園内で候補地を選定